

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 今井 栄一
住所 江東区亀戸7-39-1-501
電話3648-5155FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp

区議会第4定例会共産党3議員が質問

マンション急増問題で
音藤議員は、区は今
年6月に発表した「マ
ンション急増対策の現
状と課題」のなかで
「受入困難地区指定制
度がなくなった場合、
一気にマンション建設
計画が噴出する」と自
ら分析しての、今議
会で受け入れ困難地区
(II建設中止)の指定
をはずした新条例を提
案したことを批判。

「学校の受入困難地区の
指定は、条例の施行規則
で毎年見直す」ことが明
記されており、「状況を
十分に見極めて個別地域
ごとに対応すべき」とた
だしました。
これに対し区は、「公
共施設への受け入れ
を予測した結果、対応可
能と判断し、受入困難地
区指定制度を廃止した」
などと答えました。

「この灯を永遠に合唱」のコーラス=11/17砂町文化センター
「平和の集い」は世界
に誇れる憲法9条守ろう
とベーターベン第9の
「歓喜の歌」のメロディー
で替え歌「喚起に寄す」
を全員で合唱しました。
年金者組合「朗読の会」
は「わたしの命 あなた
の命 みんなの命 守り
たい 戦争はもういらな
いよ」を朗読。与謝野晶
子の「ああ弟よ 君死に
たもうことなけれ…」な
ど感情こめた熱演。
新日本婦人の会は沖縄

「この灯を永遠に合唱」
団は20年前に「東京大
空襲記念組曲「燃える川」
を契機に誕生。この日は
「兄ちゃん」「おかあさ
んどうして?」「輝く未
来へ」を合唱しました。

「家族が健康な場合でも
仕事などで中高齢者が
ひとりになる場合は、利
用が認められる」と述べ、
「そのことをケアマネー
ジャーに周知を図る」と
約束しました。

赤羽目議員は、若者
を取り巻く雇用状況がい
まだ深刻な事態であり、
区内の数カ所のネットカ
フェでも常時若者が寝泊
まりしている実態を紹介。
「江東区独自に実態調査
を行い、生活再建できる
よう家賃補助を支援せよ」
などと迫りました。

区は、「都がネットカ
フェ難民について、来年
度からサポートセンター
を設置して生活、居住及
び就労支援に取り組む」
と応え、区としての対応
を示しませんでした。



「この灯を永遠に合唱」のコーラス=11/17砂町文化センター

憲法・平和・くらし守れの思いを込めた二つの集
会「平和のつどい」(11月17日砂町文化センター)、
第19回江東高齢者集會(12月2日、綾戸区民センター)
が開催されました。
「戦争の悲惨さを語り、憲法9条守
証言集を朗読、涙を流し
語る人も。
「この灯を永遠に合唱
団」は20年前に「東京大
空襲記念組曲「燃える川」
を契機に誕生。この日は
「兄ちゃん」「おかあさ
んどうして?」「輝く未
来へ」を合唱しました。



記念講演する女優大原 穰子さん

「私ら日本国民は、戦争やりまへんい
うて、3つの約束事を決めたんや」
高齢者集會は198人
が参加。オープニングは
土建主婦の会のレクダン
ス(写真左)、コカリナ
演奏で始まりました。

「憲法をそれぞれの
国言葉で話されると、と
ても身近に感じ、すばら
しさがよくわかりました
:」「日々の生活におわ
れ何も感じなくなってい
まうことが恐ろしい。憲
法を身近に感じた」など
の感想がよせられました。
午後からは6つの分科
会。「国の高齢者いじめ
のひどさ、本当に腹が立
ちます」「最低保障年金
の話ははじめて聞く、と
ても参考になった」「夫
が認知症、奥さんは寝た
きりという人がいる。ヘ
ルパーさんがきてくれて
いるが、この方たちも大変
な条件で働いていること
がよくわかった」など。
高齢者集會にさきだつて
上映された「花の夢」栗
原貞子さんをかこんでの
分科会で、「栗原さんの
言葉が耳に焼き付きまし
た」など多くの感想が、
最後にアピールを採択し
ました。

「この灯を永遠に合唱」
団は20年前に「東京大
空襲記念組曲「燃える川」
を契機に誕生。この日は
「兄ちゃん」「おかあさ
んどうして?」「輝く未
来へ」を合唱しました。

潮陽

シーサイドマラソン
に参加した。小春日
和の天気。風もなく、
気持ちよく走れたが競技運
営の一部に不快感が残つ
た▼「東京オリンピック
招致」の押しつけがひど
い。会場に旗が立ち、応
援者の紙製の旗にも。選
手受付の広場には「東京
オリンピック招致署名」
のテントがたち、数人が
鉛筆片手に署名を呼びか
けている。参加者は早く
受付を済ませ、どこで着
替えるか、トイレをどう
するかなど気せわしい時
間で、わずらわしいだけ
である。区長も「オリ
ンピックに参加している気
持で走って」とわけのわ
からない挨拶▼参加者は、
仕事や家事の合間を縫っ
て、長い距離をより早く
と、ささやかな努力をし
て、走ることを楽しんで
いる市民ランナーだ。大
会はその気持を大事にし
ることが求められている
▼スポーツは自発性と公
正が命。そこに政治的思
惑の「東京オリンピック
招致」を押しつけること
は間違っている。それは
シーサイドマラソン大会
そのものを白無しにする。

平和・くらし風土記 24

木場労働運動のあゆみ ② 建設労働者の共同で活路を

戦後木材統制が廃止され、焼跡からの復興で需要が急増し、木場には400軒近い業者が営業再開して労働者も集まってきました。その中に戦前活動した平田、稲垣等がいて、全日本木材労組東京支部を結成。2年後には35職場451人の組織になりました。50年レッドパージが吹き荒れる中で、怪我をすれば逆に叱られて賃金を削られるなどの不当な行為へのたたかいはつづきました。

また本所の中川製材で突然の工場閉鎖による80人の労働者を救済する活動に、社長が逆上して日本刀を持ち出そうとしたという、当時のエピソードがのこっています。

54年東京木材合同労組に発展的解消したものの、会社の切り崩し工作や乏しい組合財政などが重なり、後退を余儀なくされました。61年陽和木材で支部を結成し、労働協約作成、退職金制度、組合活動の保障などの成果を上げ、組合再建の機運が盛り上がり、5年ぶりの大会で民主的階級的労働組合としての役員体制を確立しました。

60年代も「アカ」呼ばわりした一方的解雇や、赤字を理由にした工場閉鎖など、組合つぶしを狙った攻撃とたたかっていきます。

70年代に入ると政治革新を背景にした労働運動の高揚の時期を迎え、74年春闘では約3万円の賃上げを獲得し、労働条件も前進した結果、未組織の労働者の間にも労働組合の威信が高まり8年間で新たに19支部が誕生しました。

80年に新木場に移動して国内最大の木材工業団地となったが、鉄骨の高層ビル建築ブームに加え、産地国の原木禁輸と木材製品輸入増という恒久的な構造不況がおそいかかりました。

木材労働者は全日自労・建設一般労働組合に結集してたたかっています。



第20回メーデーに集まった組合員



佐藤蔵会長の挨拶について、衆院東京15区候補吉田とおさんが来賓挨拶「参院選での与野党逆転によって、23日にインド洋で給油活動していた自衛隊が帰国しました。国民の声が政治を動かす時代です。生存権と平和を守るみなさんの要求を国会に届けるためにがんばります。」との決意表明は満場の拍手に迎えられました。

最後に後期高齢者医療運動方針の提案にあたり、国民の生活水準と連動する生活保護費が引き下げられているもとで、「生存権裁判を支える江東の会」が区内8団体と有志により結成された意義が強調されました。そして江東区の生活保護4842世帯、6457人の受給者、国民健康保険料滞納者32867人、都営住宅承継の制約で退去を迫られているなど、切実な現状がありま

す。今こそ守る会の出番、班を基礎とした活動と各団体との協力共同の方針が提起され、満場一致で決定しました。

昨年80人で発足した会、標を掲げました。は、主婦の会や各分会に、東京土建9条の会の100名署名チャレンジャーの登録のよびかけには、全都一位の65人が応募しています。すでに主婦の会役員の千の署名を達成しました。一人は「私も100筆達成しました」と東京土建

江東生活と健康を守る会35回大会 地域に根ざした活動で くらしと平和を守ろう

11月25日、生活と健康を守る会の第35回大会が総合市民センターで開催されました。

30班を代表する代議員、評議員、来賓など79人が参加しました。

運動方針の提案にあたり、国民の生活水準と連動する生活保護費が引き下げられているもとで、「生存権裁判を支える江東の会」が区内8団体と有志により結成された意義が強調されました。

制度の中止と見直しを求め、特別決議を採択し、役員選出と大会スローガ

を確定して閉会しました。

「9条守れ」の声を集めて 江東建設9条の会

11月24日「九条の会」の第2回全国交流集会に、47都道府県510組織の代表1020人が集い、創意溢れる活動の報告が参加者の共感と感動をよびおこしました。全国6801組織の一つである江東建設9条の会の活動を紹介します。

「9条の会ニュース」に談話を寄せています。「戦争中のことを思い出すのも、言葉にするのもつらく、今も心に深い傷跡として残っています。このような事は二度と起きてほしくない。子どもたちにもこんな思いは絶対にしてほしくない、そんな思いでこの『1000名署名チャレンジャー』に登録し署名を集めました。これからも9条を守る活動を続けていきます。」



シーサイド
マラソンを走る
佐藤和行(53才)

第1回、2回と参加し、その後腰痛で長く休み4年前からまた参加しています。腰痛で無理はできませんが、長く続けるためマイペースで景色を見ながら楽しく走ることにしています。

今回も地元の声援と色づいた葉が落ち始めたなか爽快に走れました。



また昨年からフルマラソンに挑戦し3回ほど大会に参加し、元気がうち今度は海外遠征にチャレンジする予定です。このようなスポーツを楽しむのも平和であってこそです。

- ### 1月の行事案内
- 4日(金) 正午より消費税反対新春署名行動、富岡八幡宮
 - 13日(日) 17時、江東民主商工会旗開き、砂町文化センター
 - 13日(日) 11時、新婦人江東支部新春のつどい、小松橋区民館
 - 19日(土) 13時、生活保護制度区民学習会、生存権裁判を支える江東の会、パルシティ江東(旧女性センター)
 - 19日(土) 18時、東京土建江東支部新春旗開き、錦糸町丸井サンライズホール
 - 23日(水) 18時、江東区労連新春旗開き、東京土建江東支部会館
 - 27日(日) 10時、江東生活と健康を守る会新春のつどい、砂町文化センター